



# ●+■⇒★▼● パートナースhipがつくる地域の未来!

## エコポイントで森林保全活動

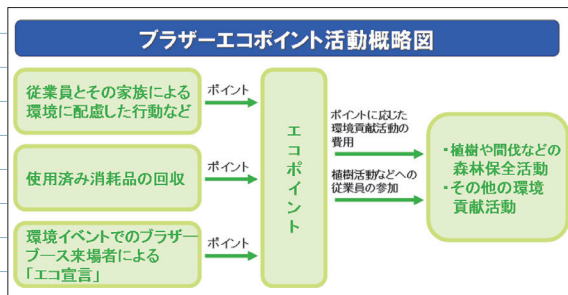
### ブラザー工業株式会社 ブラザーエコポイント活動

当社では平成20年4月に「ブラザーエコポイント活動」をスタートさせました。

この活動は、

- ①従業員やその家族による、「レジ袋を断る、節電や節水をする、徒歩や自転車、公共交通機関で移動する、地域の清掃活動に参加する」などの環境に配慮した行動
- ②お客様からのプリンタのカートリッジなど使用済み消耗品の回収
- ③環境イベントでのブラザーブースへの来場者による、環境に配慮した行動の実践を宣言する「エコ宣言」

に対してエコポイントを付与し、貯まったポイントに応じてブラザー工業が植樹や間伐などの森を育てる活動に寄付をするというものです。また、環境意識をさらに高めるために、従業員やその家族が植樹作業や間伐などの体験作業に参加できるようになっています。



「ブラザーエコポイント活動」とは、このように環境に配慮した行動を通じて日常生活における CO<sub>2</sub> の排出を少しでも減らすとともに、排出した CO<sub>2</sub> を吸収してくれる森林を力を合わせて育てていく活動です。

#### 「ブラザーの森 郡上」で森林保全活動

ブラザーは、平成20年6月、岐阜県郡上市内3カ所の「ブラザーの森 郡上」での森林保全活動をスタートさせました。この活動は、平成20年2月6日に岐阜県、郡上市、ブラザー工業の3者によって締結された協定に基づくものです。

3カ所の「ブラザーの森 郡上」のうち1カ所(スキー場跡地 約8ha)では、毎年春と秋に従業員とその家族100名ほどが参加し、郡上森林組合の方や地元の方々の協力のもと植樹を行って



平成20年、平成21年度で4回の植林を行い計1202本を植樹しました。

います。また、残りの2カ所(約20ha)でも間伐を実施しています。これらの森林保全活動はすべて「エコポイント活動」によって蓄えられたポイントに応じて行われています。

今後は、森林保全以外の、さまざまな環境保全活動への支援や寄付などにも活動の範囲を広げるとともに、海外の拠点でも同じような取り組みを進め、グローバルな展開を図っていきます。

お問い合わせ：CSR・ブランド戦略推進部 052-824-2311

## 白山のてっぺんから、森も、里山も、川も、日本海の中まで

### いしかわ自然学校

「自然の神秘さや不思議さを感じとる、自然とふれあいながら自然と人の様々な関係に気づき、より良い関係づくりについて楽しく学ぶ」それが、いしかわ自然学校です。

#### 全国でも例のないネットワーク型の自然学校

「いしかわ自然学校」とは、施設の名前ではありません。校舎もなければ先生もいません。白山の頂上から、森も里山も川も日本海の中まですべてをフィールドに、石川県をはじめとした行政やNPO、民間事業者などが広くネットワークを結び自然体験プログラムを提供する全国でも例のない取り組みです。

#### 多彩で豊富なプログラム

いしかわ自然学校では、年間400以上の多彩で豊富な自然体験プログラムを提供し、年間2万人以上の皆さんがご利用されています。

宿泊型プログラムの「エコロジーキャンプ」、自然とのふれあい施設を拠点とした日帰り型の「自然のまなび舎」、



エコロジーキャンプ IKAプロジェクト

少年自然の家などが行う体験学習プログラムの「いしかわ子ども自然学校」など、気軽に参加できるものから自然をより深く贅沢に味わうものまで、参加者のニーズに合わせたプログラムが用意されています。

#### 自然体験プログラムのプロデューサー

いしかわ自然学校には100名を超える「いしかわ自然学校インストラクター」が自然体験プログラムを提供しています。

いしかわ自然学校インストラクターとは、自然環境に関する正しく深い知識を備え、自然体験プログラムを企画から運営、実施、管理、評価までを体系的に行うことのできる指導者で、1年間の養成期間を経て資格を取得し、県内各地で活躍されています。



指導者養成  
アサギマダラのマーキング

#### まずは、参加してみましょう

まずは、いしかわ自然学校ホームページやパンフレットから情報収集。楽しそうと思えるプログラムを見つけたら、気軽に参加してみましょう。

きっと、自然と人との関係に新しい気づきがあることでしょう。

いしかわ自然学校HP <http://www.pref.ishikawa.jp/shizengakkou/index.html>

お問い合わせ：076-232-3991